

安城の特産品

Special products of Anjo

米・麦・大豆をはじめ、施設野菜、露地野菜、果樹、花き、畜産など多岐にわたっています。



いちじく

Fig
ジャムやワイン、ゼリーなど加工品の製品化も進んでいます。

梨

Pear
地元育成の早生品種である「甘ひびき」が誕生しました。



きゅうり

Cucumber
「三河みどり」のブランド名で販売されています。

チンゲン菜

Bok choy
ハウス栽培で、県下トップクラスの産地となっています。



花き

Flowers
アンスリウムやシクラメンなどが生産されています。

安城和牛

Anjo beef
全国区の和牛ブランド牛肉と遜色のないおいしさです。



くろやなぎ 畔柳 真さん

「健幸つながる Interview」

農は日本人の原点。そのプライドを胸に良いものを。

地元のお米は風土に合っている、だからこそ地元の人に消費してほしいと思います。生まれも育ちも安城なので、地域に恩を返しながらかっこいい農家になりたいですね。



農業都市 × 健幸

「日本デンマークを築いた、開拓精神をこれからも。」

農業先進地の明日

Future of the advanced agricultural city



明治用水 Meiji Canal

矢作川を水源とし、安城市他7市約5,500haの農地を灌漑(かんがい)しています。現在、用水路はパイプライン化され、その流れを見ることはできませんが、上部は遊歩道として整備され、市民の憩いの場となっています。

Developing and promoting the profitable agriculture

Anjo City is blessed with an abundant water supply, owing to the excavation of the Meiji Canal. The city is called the "Denmark of Japan" for its remarkable development in agriculture. It remains one of the largest agricultural areas in Aichi Prefecture where urban agriculture is performed. In recent years, measures have been promoted for branding and for sixth-order industrialization, thereby bolstering the city's infrastructure for agricultural administration and expanding the consumption of agricultural products.

安城市は明治用水の開削により豊かな水利に育まれ、「日本デンマーク」と呼ばれるほど農業で発展を遂げてきました。現在でも恵まれた自然的・社会的条件を背景に県下有数の農業地帯として、水稲、野菜、果樹、花きなどの多角経営による都市近郊型の農業が行われています。近年は農業経営基盤の強化を図るため、ブランド化や6次産業化の推進、地産地消による農産物の消費拡大に取り組んでいます。

稼げる農業の育成と振興に向けて